

2026年度(令和8年度)学校評価自己評価表

駅家中学校	校番82	福山市立駅家北学校
	最終更新日	2026年(令和8年)4月1日

I 福山市

めざす姿	すべての子どもたちが、自分自身の成長を実感できる学校教育の実現
------	---------------------------------

II 中学校区

<p>前年度学校運営協議会(学校関係者評価)の主な内容</p> <p>各校の授業の様子や学校評価を元に話し合いを行い、教職員の勤務の状況等も踏まえながらよりよい中学校区を目指した協議を行うことができた。CS開始に向け、これまでの取り組みを活かし、具体的な実践を考えていく。</p>	<p>児童生徒の現状</p> <p>○進んで挨拶をする児童・生徒が増えた。 ○基礎学力や家庭学習の定着が課題であり、「書く力」が十分でない。 また、学力差が大きい。 ○中学卒業時の姿をイメージして学びを進める力が必要 ○メディアの使用時間等、自己コントロール力が必要である。</p>	<p>育成する資質・能力</p> <p>めざす子ども像(義務教育修了時の姿)</p> <p>中学校区として統一した取組等</p>	<p>課題発見・解決力 コミュニケーション力 挑戦する力</p> <p>～よりよく生きる～ ○自律…自分で考え、判断し、決定して行動できる ○尊重…多様性を認め、自分と他者を大切にできる</p> <p>○「主体的な学びによる思考力・判断力・表現力の育成」を研究テーマとする。 ・学力調査から課題解決に向け具体的な手立てを研究し、授業を改善する。 ・自分の考えや思いを深める交流の場を作り全員参加の授業づくりを目指す。</p>
--	---	--	--

III 自校

学校教育目標
チャレンジする子ども、挑戦する学校

<p>現状</p> <p>&lt;児童生徒&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・算数科の「知識・技能」において、単元テストで平均点以上の児童の割合 70.1%</li> <li>・就寝時刻(低:21:00 中:21:30 高:22:00)を守れた児童の割合 75%</li> <li>・外遊びや体力づくりを進んでいると肯定的回答をした児童の割合 79%</li> </ul> <p>&lt;授業&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業における「対話」を通して新しい思考を生み出す力が定着しつつある。</li> <li>・「主体的な学び」を通して学力定着を図ってきたが、継続して取り組む必要がある。</li> <li>・既習事項を基にした(繋げた)思考が苦手な児童が多い。同時にこのことは授業者の課題でもある。</li> <li>・各学年でつけるべき力を確実につけるとともに、特に資料を読み解く力の向上を図る必要がある。</li> </ul>
---

育成する資質・能力	課題発見・解決力	コミュニケーション力	挑戦する力	
めざす子ども像	低学年	○身近な問題に対して疑問をもち、自分なりに導き出した答えを表現・実行する力	○自分の役割に責任をもつ力 ○自分の考えを伝える力	○学級・学年や家族の一員であることを自覚し、主体的に学ぶ力
	低学年	○地域や社会の問題に対して、もっている知識を関連付けて考え、自分なりに導き出した答えを表現・実行する力	○自分の役割や言動に責任をもったり、助け合ったりする力 ○自分の考えを伝え、相手の考えを比較してしながら聴く力	○学校や地域の一員であることを自覚し、主体的に学んだりチャレンジしたりする力
	低学年	○様々な問題に対して、もっている知識や経験等をフル活用して考え、自分なりに導き出した答えを表現・実行する力	○自分の役割や言動に責任をもち共感的に聴きながらアイデアや知識を共有し深める力	○地域・社会の一員であることを自覚し、持続可能な社会に向け、主体的に学んだりチャレンジしたりする力
	1年	○目と耳と心で聴くことができる。 ○言葉・数・情報をういて根拠をもって表現できる。	○目と耳と心で聴くことができる。 ○言葉・数・情報をういて根拠をもって表現できる。	○自分の人生を切り開いて豊かな未来を創ろうと学び続ける態度を養おうとしている。
	2年	○一人一人が自分の考えをもって他者と対話することができる。	○他者と話し合い考えを比較し統合しながらより良い考えを創造できる。	○自分の人生を切り開いて豊かな未来を創ろうと学び続ける態度を養おうとしている。
3年	○日常生活の中に課題を見つけ出し自分の知識を総動員して答えを導き出す。	○他者との関係を協調的に築きながら自分の考えを発信し仲間と課題解決する。	○自分の人生を切り開いて豊かな未来を創ろうと学び続ける態度を養おうとしている。	
研究	テーマ	深い思考力を育てる社会科授業構成		
	内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「問い」と「資料」による授業構成のための深い教材研究</li> <li>・知的に挑戦する授業づくり～「なぜ?」「なに?」</li> <li>・知識の変革的成長を促す授業づくり～「～なのに、なぜ?」</li> </ul>		
めざす授業の姿	<p>☆教師の「問い」の解決に果敢にチャレンジする授業</p> <p>① 既存の知識を総動員して問いに答えようとするこども</p> <p>② 既存の知識をひっくり返して概念を発見しようとするこども</p>			

Ⅳ 目標・取組及び評価指標等の設定と評価

福山市立駅家北小学校

年 目	中期経営目標	重 点	分 類	短期経営目標	目標達成に 向けた取組	評価指標	中間評価(10月1日)				最終評価(2月末)			
							□指標に係る 取組状況	プロセス 評価	達成 評価	改善方策	□指標に係る 取組状況 ◎短期(中期)経営 目標の達成状況	プロセス 評価	達成 評価	総合 評価
	主体的で対話 的な学びを通 した学力の定 着			主体的に課題 解決へ挑み、対 話を通して考え を深め合う授業 づくりを推進し、 確かな学力の 定着を図る。	○児童自らが課題を 見つけ、解決に見 通しをもって挑む 場面を各単元で 設定する。また、多 角的な視点で問 題解決に取り組め るよう、必然性のある 対話を仕組む。 ○学力の定着を図る ため、個や学級の 実態に合わせて、 分散学習を行う。	○算数科の知識・ 技能において、単 元テストで設定さ れている平均点 以上の児童 <b>全校児童の 75%以上</b>								
	児童がいきい きと学べる学 校づくり			児童のよりよい 生活習慣の確 立	○学級活動や日常の 指導、委員会の啓 発活動を通して、 長時間のメディア 利用が脳に与える 影響についての認 識を高める。 ○スタディーウィーク の期間に一人一 人目標を定めさせ、目的意識をも たせる。	○「メディアの使用 時間において、自 分の目標時刻を 守ることができた 割合 <b>全校児童の 70%以上</b>								
				体を動かすこと の楽しさに気づ き、自ら体力づく りに取り組む態 度の育成	○運動する機会を増 やすために、体育 委員を中心にスポ ーツウィークを設 定したり、運動の 楽しさを発信した りする機会をつく る。	○「自分は体を動か すことを楽しいと 感じる。」 <b>全校児童の 80%以上</b>								
	保護者・地域 に信頼される 学校づくり			地域との協働活 動を進め、コミュ ニティスクールの 基礎をつくる。	○児童の学びにそつ た協働活動を進め る。	○「わが子を駅家北 小学校に通わせ てよかった」と感 じる保護者 <b>95% 以上</b> 。 ○「駅家北小は、よ うやりの。」と 感じる地域 <b>95% 以上</b> 。								

